

作物統計調査 令和6年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量

— 切り花類の出荷量は28億4,600万本で、前年産に比べ6%減少 —

【調査結果の概要】

1 切り花類

作付面積は1万2,360ha、出荷量は28億4,600万本で、前年産に比べそれぞれ350ha（3%）、1億8,200万本（6%）減少した。

2 球根類

収穫面積は204ha、出荷量は5,810万球で、前年産に比べそれぞれ25ha（11%）、1,000万球（15%）減少した。

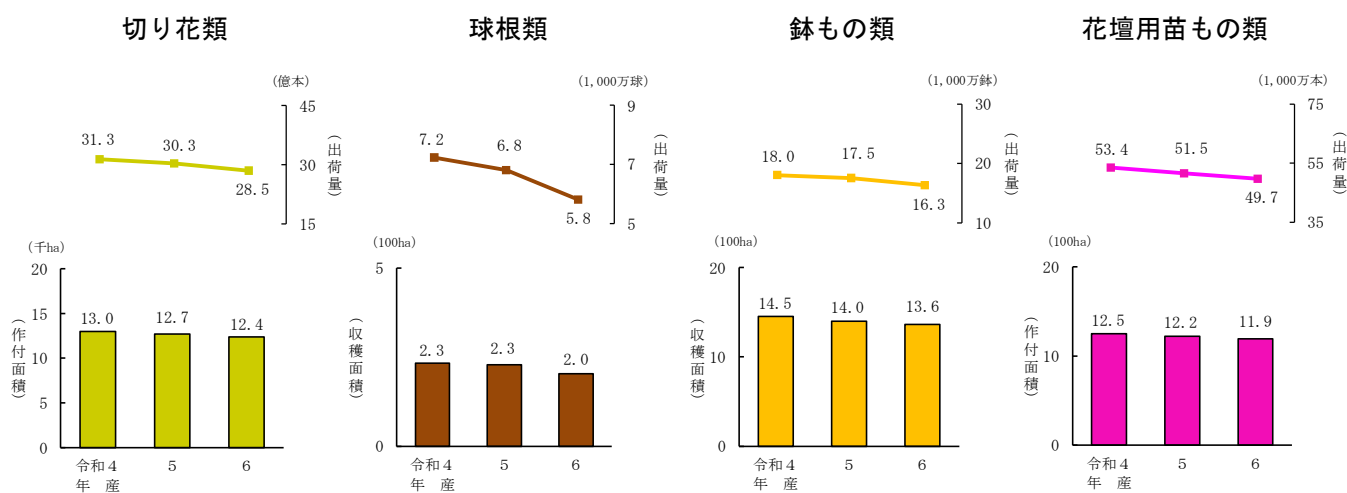
3 鉢ものの類

収穫面積は1,364ha、出荷量は1億6,330万鉢で、前年産に比べそれぞれ36ha（3%）、1,210万鉢（7%）減少した。

4 花壇用苗ものの類

作付面積は1,193ha、出荷量は4億9,710万本で、前年産に比べそれぞれ30ha（2%）、1,830万本（4%）減少した。

図1 花きの作付（収穫）面積及び出荷量（全国）



- 作付面積とは、販売を意図して、花き栽培のために利用することを目的に作付けした面積をいう。
- 収穫面積とは、球根類及び鉢ものの類の作付面積のうち、収穫した花きの利用面積をいい、育成中の利用面積を除いたものをいう。
- 本年産は主産県を対象に調査を実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した。

表1 令和6年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量（全国）

類・品目	作付（収穫）面積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作付（収穫） 面 積	出 荷 量
	a	千本（球・鉢）	%	%
切 り 花 類	1,236,000	2,846,000	97	94
うち き く	382,100	1,111,000	96	94
カ ー ネ ー シ ョ ン	21,500	170,800	94	94
ば ら	25,400	171,300	97	93
り ん ど う	38,300	68,300	98	99
宿 根 か す み そ う	19,800	47,600	101	101
ス タ ー チ ス	16,400	112,200	99	99
ガ ー ベ ラ	7,020	116,100	95	97
ト ル コ ギ キ ョ ウ	38,000	78,300	98	93
ゆ り	58,600	98,000	96	96
ア ル ス ト ロ メ リ ア	8,080	53,600	101	98
切 り 葉	54,200	74,000	99	91
切 り 枝	350,000	194,600	98	95
球 根 類	20,400	58,100	89	85
鉢 も の 類	136,400	163,300	97	93
うち シ ク ラ メ ン	15,000	13,500	99	94
洋 ラ ン 類	15,600	10,900	96	96
観 葉 植 物	24,400	37,900	96	93
花 木 類	27,000	27,200	98	94
花 壇 用 苗 も の 類	119,300	497,100	98	96
うち パ ン ジ ー	22,700	96,900	99	98

- 注：1 切り花類、鉢もの類及び花壇用苗もの類の値は、表章されている内訳品目以外の品目を含んだ合計である。
2 球根類及び鉢もの類は、収穫面積である。
3 出荷量の単位は、切り花類及び花壇用苗もの類が千本、球根類が千球、鉢もの類が千鉢である。

◎ 累年データ

花きの類別作付（収穫）面積及び出荷量（全国）

区 分	1 切り花類		2 球根類		3 鉢ものの類		4 花壇用苗ものの類	
	作付面積	出 荷 量	収穫面積	出 荷 量	収穫面積	出 荷 量	作付面積	出 荷 量
	ha	万本	ha	万球	ha	万鉢	ha	万本
平成27年産	14,820	386,700	364	10,200	1,732	22,960	1,488	66,600
28	14,590	378,100	317	9,540	1,675	22,650	1,450	64,930
29	14,460	370,400	304	9,110	1,643	22,120	1,401	60,960
30	14,170	353,400	287	8,560	1,605	20,960	1,378	59,840
令和元	13,800	348,200	259	7,630	1,549	20,500	1,327	57,900
2	13,410	325,200	255	7,370	1,503	19,100	1,301	56,560
3	13,280	324,900	239	7,420	1,474	18,860	1,277	55,440
4	12,970	313,300	234	7,230	1,452	18,040	1,253	53,440
5	12,710	302,800	229	6,810	1,400	17,540	1,223	51,540
6（概数）	12,360	284,600	204	5,810	1,364	16,330	1,193	49,710

資料：農林水産省統計部「花き生産出荷統計」

【調査結果】

1 切り花類

(1) 計

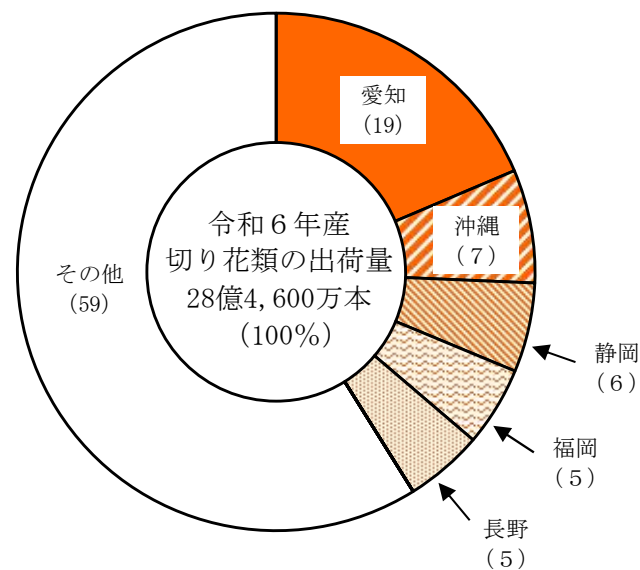
ア 作付面積は1万2,360haで、前年産に比べ350ha（3％）減少した。

イ 出荷量は28億4,600万本で、前年産に比べ1億8,200万本（6％）減少した。

これは、作付面積の減少に加え、夏期の高温の影響により生育不良がみられたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が19%で最も高く、次いで沖縄県が7%、静岡県が6%、福岡県及び長野県がそれぞれ5%となっている。

図2 切り花類の都道府県別出荷量割合



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下図22まで同じ。）。

表2 令和6年産切り花類の作付面積及び出荷量（全国）

類 別	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
切 り 花 類	12,360	284,600	97	94

(2) きく

ア 作付面積は3,821haで、前年産に比べ158ha（4％）減少した。

イ 出荷量は11億1,100万本で、前年産に比べ7,600万本（6％）減少した。

これは、作付面積の減少に加え、夏期の高温の影響により葉焼けや芽焼けが発生したこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が36%で最も高く、次いで沖縄県が16%、福岡県が6%、鹿児島県が5%、長崎県が4%となっており、この5県で全国の約7割を占めている。

図3 きくの都道府県別出荷量割合

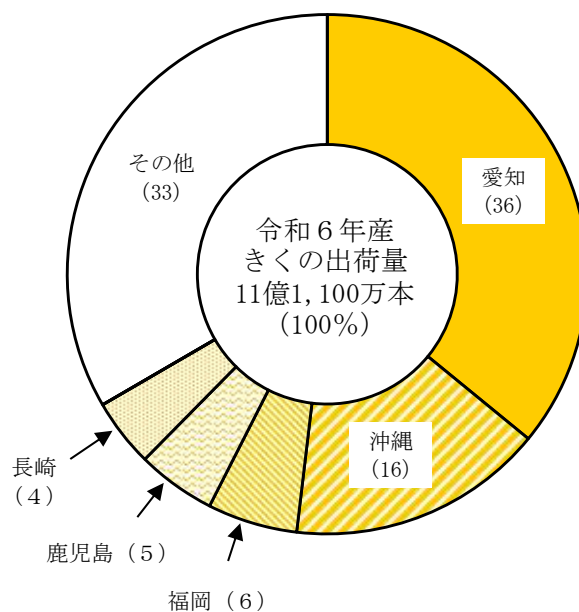


表3 令和6年産きくの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
き く	3,821	111,100	96	94

(3) カーネーション

ア 作付面積は 215ha で、前年産に比べ 14ha（6％）減少した。

これは、生産者の高齢化等の労力事情により規模縮小があったこと等による。

イ 出荷量は 1 億 7,080 万本で、前年産に比べ 1,180 万本（6％）減少した。

これは、作付面積が減少したこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、長野県が 21％で最も高く、次いで愛知県が 19％、千葉県が 10％、兵庫県及び北海道がそれぞれ 9％となっており、この 5 道県で全国の約 7 割を占めている。

図 4 カーネーションの都道府県別出荷量割合

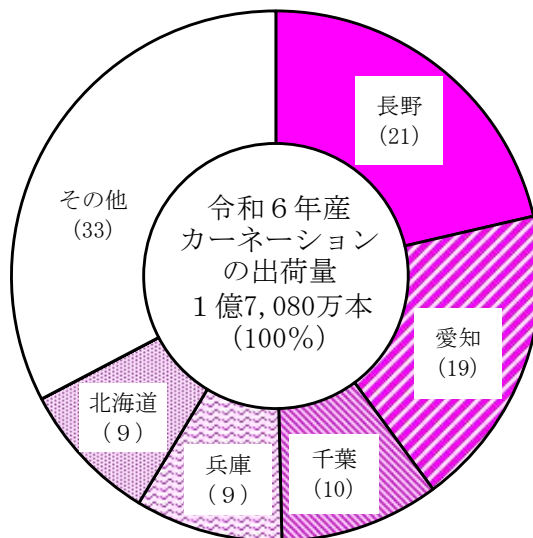


表 4 令和 6 年産カーネーションの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
カーネーション	ha 215	万本 17,080	% 94	% 94

(4) ばら

ア 作付面積は 254ha で、前年産に比べ 8 ha（3％）減少した。

イ 出荷量は 1 億 7,130 万本で、前年産に比べ 1,230 万本（7％）減少した。

これは、作付面積の減少に加え、夏の高温の影響により生育不良がみられたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が 17％で最も高く、次いで静岡県が 9％、山形県が 7％、福岡県及び群馬県がそれぞれ 6％となっている。

図 5 ばらの都道府県別出荷量割合

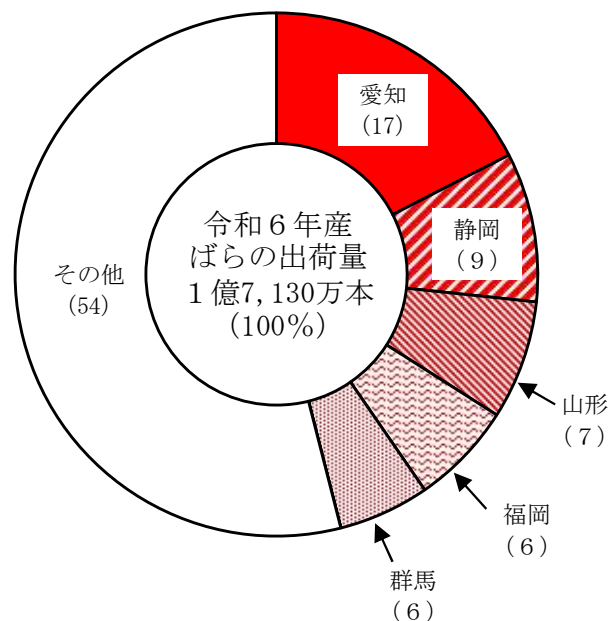


表 5 令和 6 年産ばらの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
ばら	ha 254	万本 17,130	% 97	% 93

(5) りんどう

ア 作付面積は 383ha で、前年産に比べ 6 ha（2％）減少した。

イ 出荷量は 6,830 万本で、前年産に比べ 70 万本（1％）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、岩手県が 60％で最も高く、次いで秋田県及び山形県がそれぞれ 11％となっており、この 3 県で全国の約 8 割を占めている。

図 6 りんどうの都道府県別出荷量割合

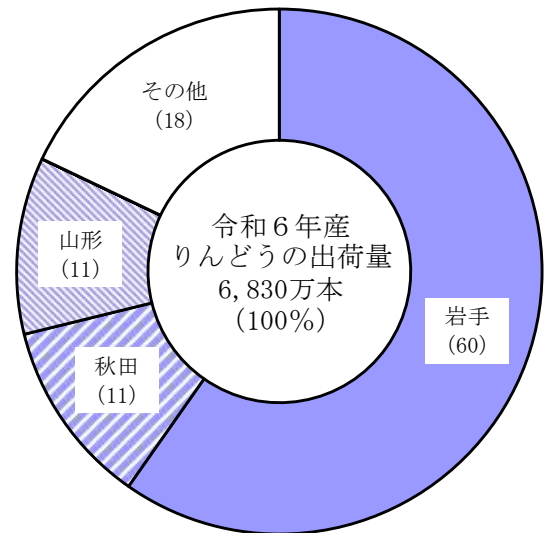


表 6 令和 6 年産りんどうの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
りんどう	383	6,830	98	99

(6) 宿根かすみそう

ア 作付面積は 198ha で、前年産に比べ 2 ha（1％）増加した。

イ 出荷量は 4,760 万本で、前年産に比べ 40 万本（1％）増加した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、熊本県が 38％で最も高く、次いで福島県及び和歌山県がそれぞれ 20％、北海道が 5％となっており、この 4 道県で全国の約 8 割を占めている。

図 7 宿根かすみそうの都道府県別出荷量割合

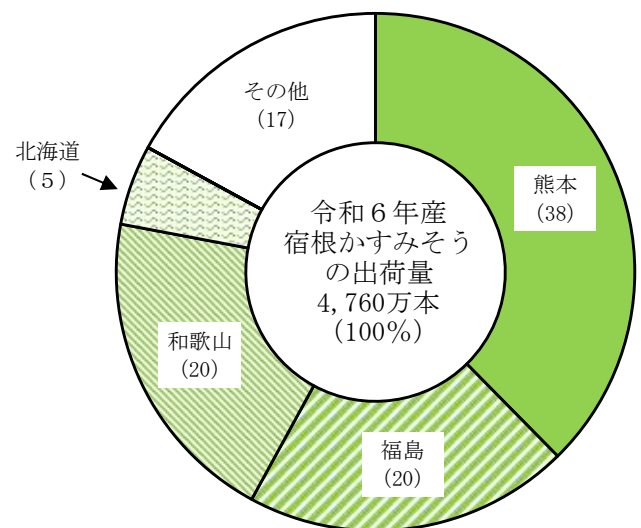


表 7 令和 6 年産宿根かすみそうの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
宿根かすみそう	198	4,760	101	101

(7) スターチス

ア 作付面積は 164ha で、前年産に比べ 2 ha（1 %）減少した。

イ 出荷量は 1 億 1,220 万本で、前年産に比べ 110 万本（1 %）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、和歌山県が 57%で最も高く、次いで北海道が 24%となっており、この 2 道県で全国の約 8 割を占めている。

図 8 スターチスの都道府県別出荷量割合

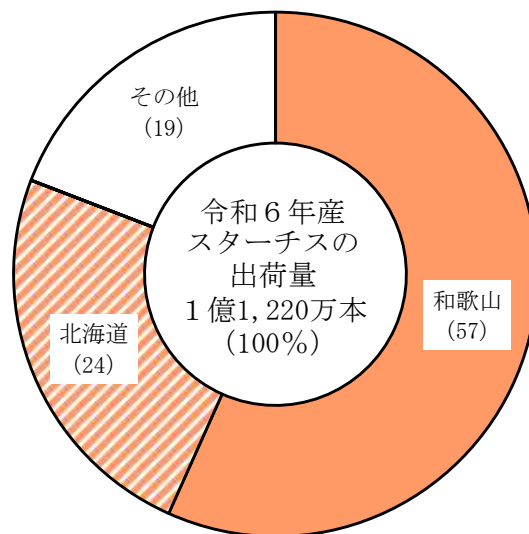


表 8 令和 6 年産スターチスの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
ス タ ー チ ス	164	11,220	99	99

(8) ガーベラ

ア 作付面積は 70ha で、前年産に比べ 4 ha（5 %）減少した。

イ 出荷量は 1 億 1,610 万本で、前年産に比べ 380 万本（3 %）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、静岡県が 39%で最も高く、次いで福岡県が 16%、和歌山県が 9 %、愛知県が 7 %、千葉県が 6 %となっており、この 5 県で全国の約 8 割を占めている。

図 9 ガーベラの都道府県別出荷量割合

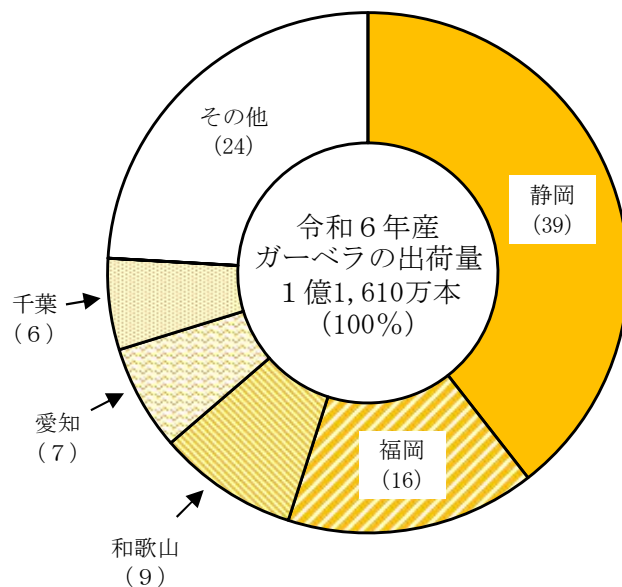


表 9 令和 6 年産ガーベラの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
ガ ー ベ ラ	70	11,610	95	97

(9) トルコギキョウ

ア 作付面積は 380ha で、前年産に比べ 7 ha (2%) 減少した。

イ 出荷量は 7,830 万本で、前年産に比べ 600 万本 (7%) 減少した。

これは、作付面積の減少に加え、夏期の高温の影響により葉焼けや花焼けが発生したこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、長野県が 14% で最も高く、次いで熊本県が 12%、福岡県が 10%、静岡県が 5%、高知県が 4% となっている。

図 10 トルコギキョウの都道府県別出荷量割合

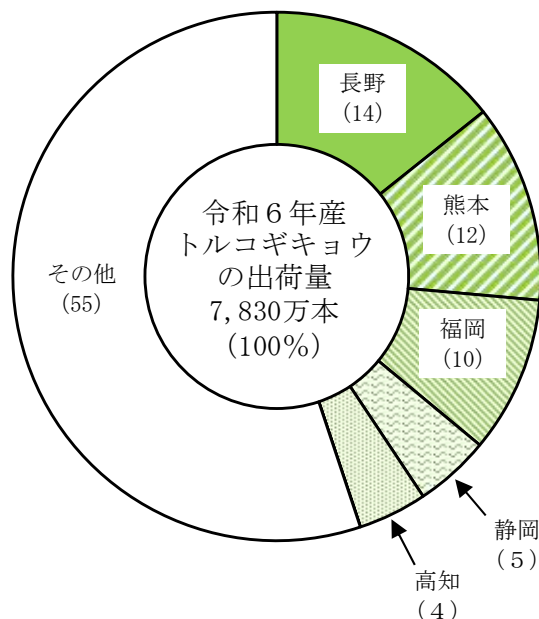


表 10 令和 6 年産トルコギキョウの作付面積及び出荷量 (全国)

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
トルコギキョウ	380	7,830	98	93

(10) ゆり

ア 作付面積は 586ha で、前年産に比べ 23ha (4%) 減少した。

イ 出荷量は 9,800 万本で、前年産に比べ 380 万本 (4%) 減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、埼玉県が 22% で最も高く、次いで新潟県及び高知県がそれぞれ 10%、宮崎県及び北海道がそれぞれ 6% となっており、この 5 道県で全国の約 5 割を占めている。

図 11 ゆりの都道府県別出荷量割合

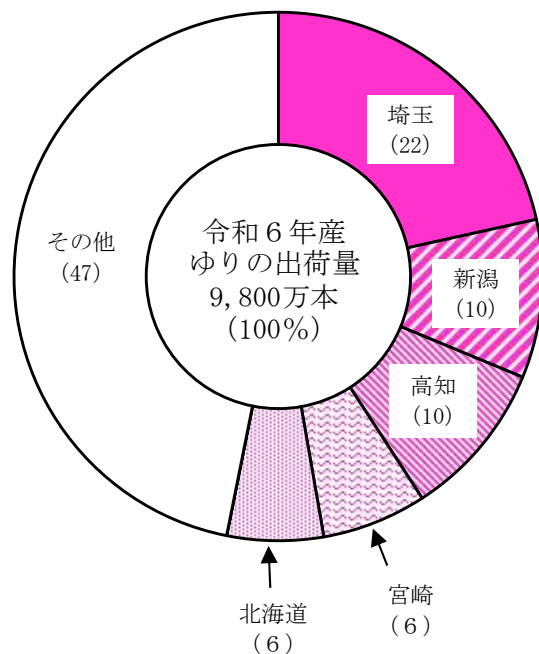


表 11 令和 6 年産ゆりの作付面積及び出荷量 (全国)

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
ゆり	586	9,800	96	96

(11) アルストロメリア

ア 作付面積は 81ha で、前年産に比べ 1 ha (1%) 増加した。

イ 出荷量は 5,360 万本で、前年産に比べ 90 万本 (2%) 減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、長野県が 41% で最も高く、次いで愛知県が 20%、山形県が 10%、北海道が 9% となっており、この 4 道県で全国の約 8 割を占めている。

図 12 アルストロメリアの都道府県別出荷量割合

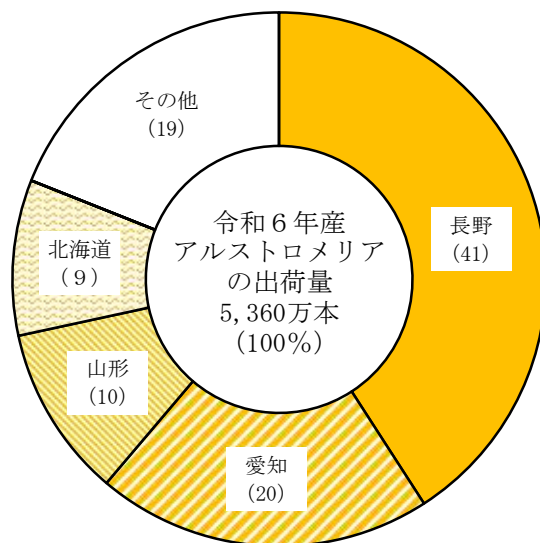


表 12 令和 6 年産アルストロメリアの作付面積及び出荷量 (全国)

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
アルストロメリア	ha 81	万本 5,360	% 101	% 98

(12) 切り葉

ア 作付面積は 542ha で、前年産に比べ 8 ha (1%) 減少した。

イ 出荷量は 7,400 万本で、前年産に比べ 710 万本 (9%) 減少した。

これは、夏期の高温の影響や 9 月以降の長雨による日照不足により、生育不良がみられたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、東京都が 30% で最も高く、次いで沖縄県が 21%、鹿児島県が 15%、静岡県が 8%、千葉県が 5% となっており、この 5 都県で全国の約 8 割を占めている。

図 13 切り葉の都道府県別出荷量割合

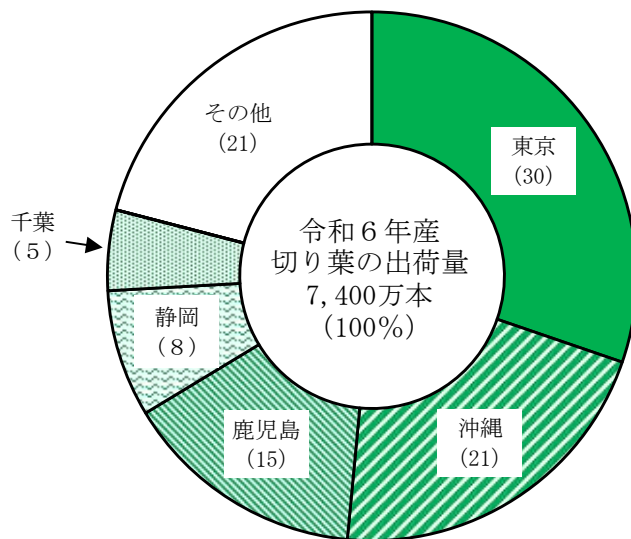


表 13 令和 6 年産切り葉の作付面積及び出荷量 (全国)

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
切 り 葉	ha 542	万本 7,400	% 99	% 91

(13) 切り枝

ア 作付面積は 3,500ha で、前年産に比べ 75ha (2%) 減少した。

イ 出荷量は 1 億 9,460 万本で、前年産に比べ 1,090 万本 (5%) 減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、静岡県及び茨城県がそれぞれ 16% で最も高く、次いで宮崎県及び愛媛県がそれぞれ 5%、和歌山県が 4% となっている。

図 14 切り枝の都道府県別出荷量割合

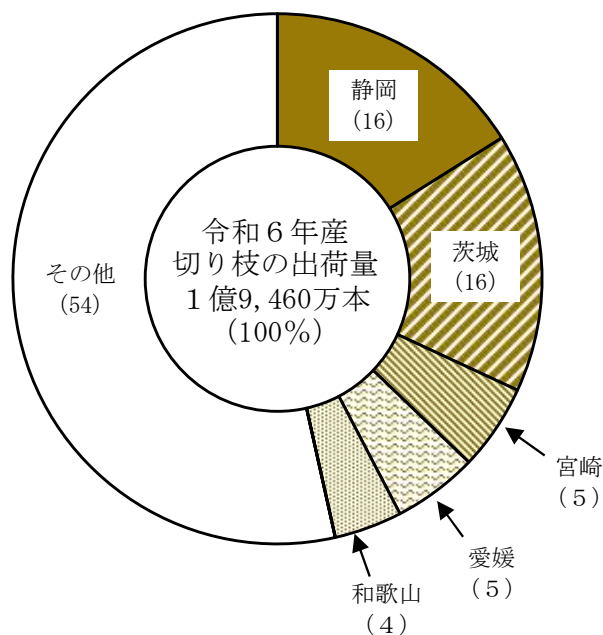


表 14 令和 6 年産切り枝の作付面積及び出荷量 (全国)

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
切 り 枝	3,500	19,460	98	95

2 球根類

(1) 収穫面積は 204ha で、前年産に比べ 25ha (11%) 減少した。

これは、生産者の高齢化等の労力事情により規模縮小があったこと等による。

(2) 出荷量は 5,810 万球で、前年産に比べ 1,000 万球 (15%) 減少した。

これは、収穫面積の減少に加え、夏期の高温により早枯れが発生し、球根の肥大が低下したこと等による。

(3) 都道府県別出荷量割合は、鹿児島県が 24% で最も高く、次いで新潟県が 17%、富山県が 16%、宮崎県が 11% となっており、この 4 県で全国の約 7 割を占めている。

図 15 球根類の都道府県別出荷量割合

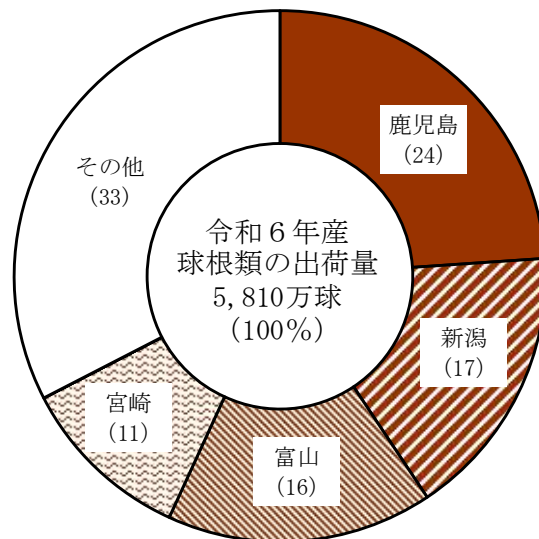


表 15 令和 6 年産球根類の収穫面積及び出荷量 (全国)

類 別	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
	ha	万球	%	%
球 根 類	204	5,810	89	85

3 鉢ものの類

(1) 計

ア 収穫面積は1,364haで、前年産に比べ36ha（3％）減少した。

イ 出荷量は1億6,330万鉢で、前年産に比べ1,210万鉢（7％）減少した。

これは、収穫面積の減少に加え、夏期の高温の影響により生育不良がみられたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が26%で最も高く、次いで埼玉県及び静岡県がそれぞれ8％、岐阜県が6％、千葉県が5％となっており、この5県で全国の約5割を占めている。

図 16 鉢ものの類の都道府県別出荷量割合

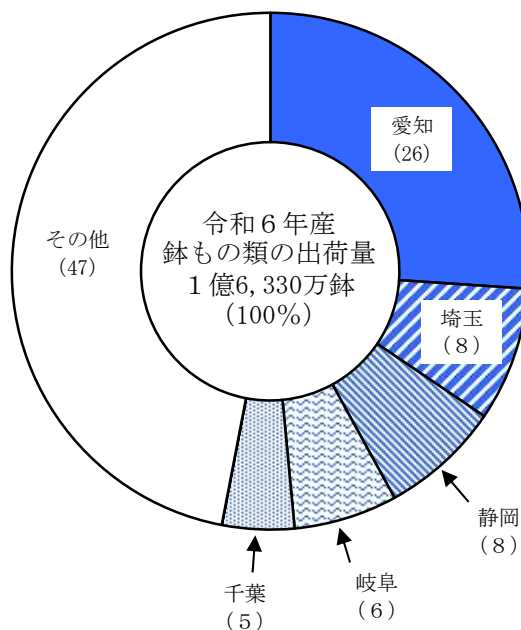


表 16 令和 6 年産鉢ものの類の収穫面積及び出荷量（全国）

類 別	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
鉢 物 の 類	ha	万鉢	%	%
	1,364	16,330	97	93

(2) シクラメン

ア 収穫面積は150haで、前年産に比べ1ha（1％）減少した。

イ 出荷量は1,350万鉢で、前年産に比べ80万鉢（6％）減少した。

これは、収穫面積の減少に加え、夏期の高温の影響により生育不良がみられたこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、長野県が12%で最も高く、次いで愛知県が11%、群馬県が7％、千葉県及び福島県がそれぞれ6％となっている。

図 17 シクラメンの都道府県別出荷量割合

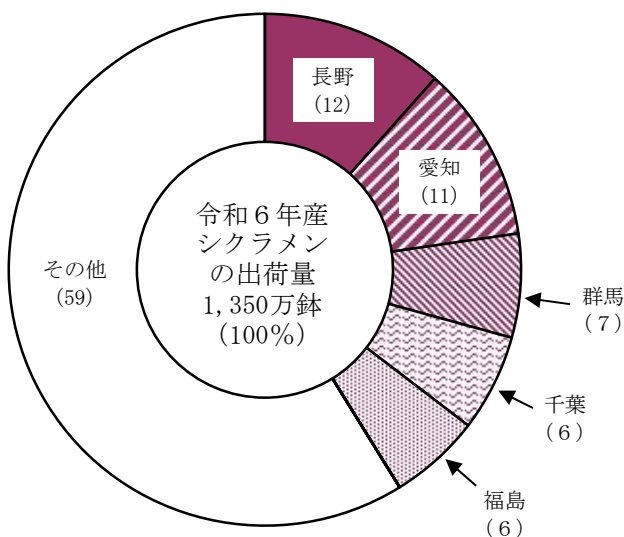


表 17 令和 6 年産シクラメンの収穫面積及び出荷量（全国）

品 目	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
シ ク ラ メ ン	ha	万鉢	%	%
	150	1,350	99	94

(3) 洋ラン類

ア 収穫面積は 156ha で、前年産に比べ 7 ha (4 %) 減少した。

イ 出荷量は 1,090 万鉢で、前年産に比べ 50 万本 (4 %) 減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が 23%で最も高く、次いで熊本県が 11%、千葉県が 9 %、福岡県が 8 %、山梨県が 6 %となっており、この 5 県で全国の約 6 割を占めている。

図 18 洋ラン類の都道府県別出荷量割合

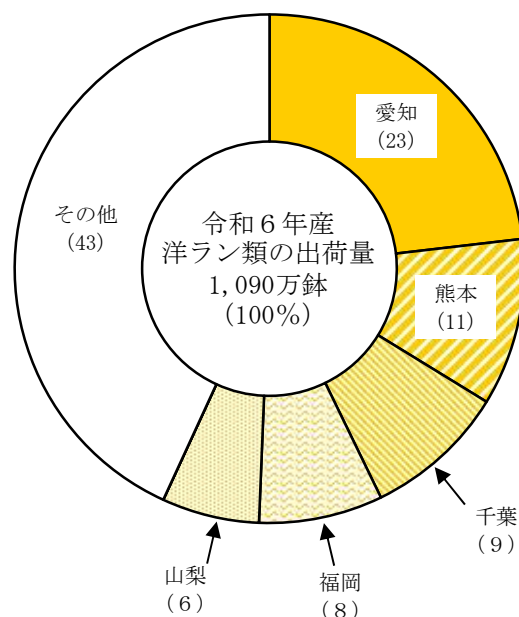


表 18 令和 6 年産洋ラン類の収穫面積及び出荷量 (全国)

品 目	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
洋 ラ ン 類	ha 156	万鉢 1,090	% 96	% 96

(4) 観葉植物

ア 収穫面積は 244ha で、前年産に比べ 10ha (4 %) 減少した。

イ 出荷量は 3,790 万鉢で、前年産に比べ 300 万鉢 (7 %) 減少した。

これは、収穫面積の減少に加え、夏期の高温の影響により葉焼けが発生したこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が 48%で最も高く、次いで静岡県が 13%、三重県が 9 %、鹿児島県が 4 %、千葉県が 3 %となっており、この 5 県で全国の約 8 割を占めている。

図 19 観葉植物の都道府県別出荷量割合

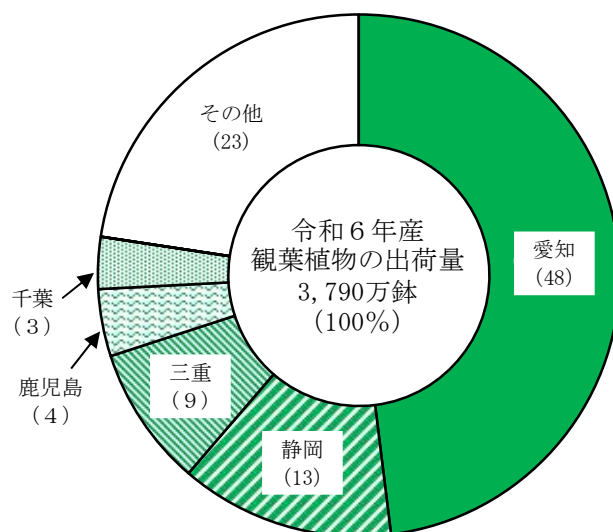


表 19 令和 6 年産観葉植物の収穫面積及び出荷量 (全国)

品 目	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
観 葉 植 物	ha 244	万鉢 3,790	% 96	% 93

(5) 花木類

ア 収穫面積は 270ha で、前年産に比べ 5 ha（2％）減少した。

イ 出荷量は 2,720 万鉢で、前年産に比べ 180 万鉢（6％）減少した。

これは、収穫面積の減少に加え、夏期の高温の影響により葉焼けが発生したこと等による。

ウ 都道府県別出荷量割合は、愛知県が 22%で最も高く、次いで新潟県が 15%、岐阜県が 14%、埼玉県が 8％、静岡県が 7％となっており、この 5 県で全国の約 7 割を占めている。

図 20 花木類の都道府県別出荷量割合

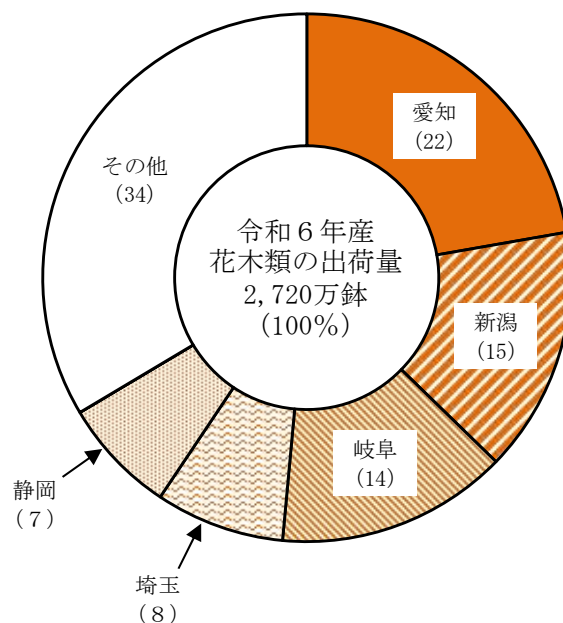


表20 令和 6 年産花木類の収穫面積及び出荷量（全国）

品 目	収 穫 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			収 穫 面 積	出 荷 量
花 木 類	ha	万鉢	%	%
	270	2,720	98	94

4 花壇用苗ものの類

(1) 計

ア 作付面積は 1,193ha で、前年産に比べ 30ha（2％）減少した。

イ 出荷量は 4 億 9,710 万本で、前年産に比べ 1,830 万本（4％）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は、埼玉県が 10%で最も高く、次いで愛知県が 7％、千葉県が 6％、奈良県及び福岡県がそれぞれ 5％となっている。

図 21 花壇用苗ものの類の都道府県別出荷量割合

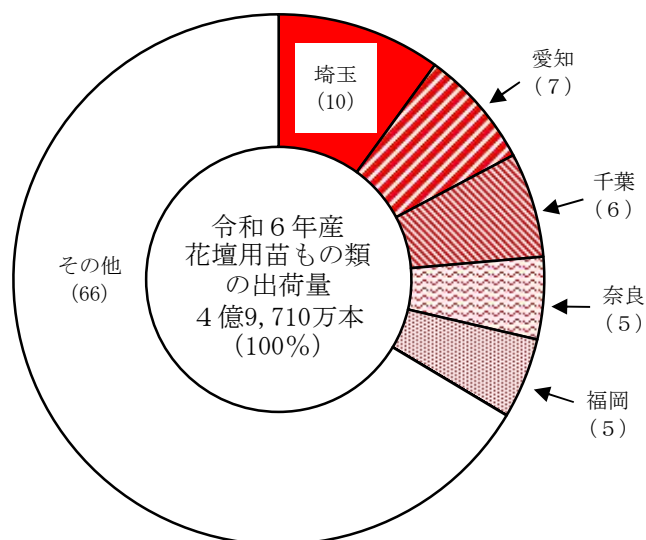


表21 令和 6 年産花壇用苗ものの類の作付面積及び出荷量（全国）

類 別	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
花 壇 用 苗 も の 類	ha	万本	%	%
	1,193	49,710	98	96

(2) パンジー

ア 作付面積は 227ha で、前年産に比べ 2 ha（1％）減少した。

イ 出荷量は 9,690 万本で、前年産に比べ 170 万本（2％）減少した。

ウ 都道府県別出荷量割合は埼玉県が 8％で最も高く、次いで神奈川県、愛知県及び福岡県がそれぞれ 6％、茨城県が 5％となっている。

図 22 パンジーの都道府県別出荷量割合

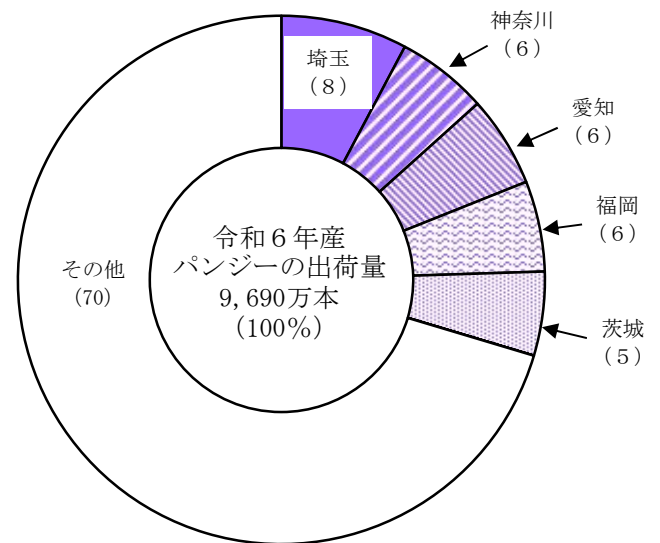


表 22 令和 6 年産パンジーの作付面積及び出荷量（全国）

品 目	作 付 面 積	出 荷 量	対 前 年 産 比	
			作 付 面 積	出 荷 量
	ha	万本	%	%
パ ン ジ ー	227	9,690	99	98

【 統計表 】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040283671&ext=xls>

【 調査の概要 】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kaki/gaiyou/

【 調査結果の主な利活用 】

花きの振興に関する法律（平成 26 年法律第 102 号）に基づき策定された「花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針」において推進される各種対策のための資料

【 ホームページ掲載案内 】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「花き」の「作況調査（花き）」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kaki/#y
- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和 7 年 10 月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【 関連リンク 】

花き関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）
＞花き振興コーナー

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/>

花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針：農林水産省＞組織別から探す＞農産局
＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞花き振興コーナー

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/attach/pdf/index-103.pdf>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 園芸統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3680
（直通）03-6744-2044

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>

